

第 2 回岩手県公共交通活性化協議会 県南地域部会

資 料 （叩き台）

－ 目 次 －	
1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題.....	1
1-1 人口動態.....	1
1-2 まちづくり.....	1
1-3 公共交通.....	2
2. 県南地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題	3
2-1 人口.....	3
2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態	4
2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性	5
2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ.....	5
2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋）） ..	5
3. 県南地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）	6

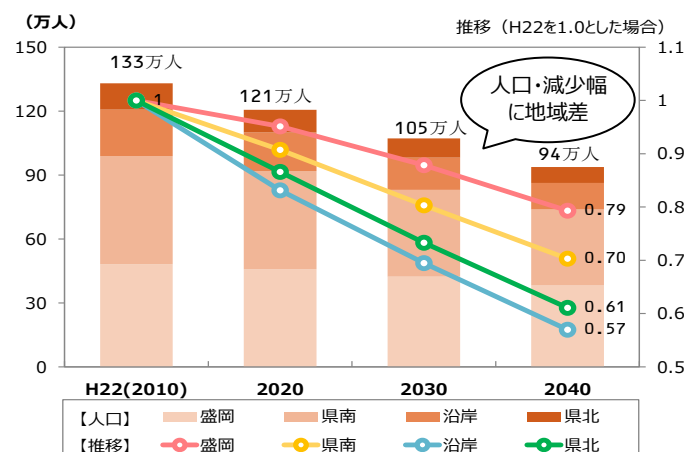
平成 3 0 年 9 月 1 0 日（月）
岩手県政策地域部交通政策室

1. 岩手県の地域公共交通を取り巻く現状と課題

1-1 人口動態

- 本県の人口は平成9年の約142万人※をピークに減少に転じており、平成29年には約125万人※と約17万人減少（平成9年比約1割減）している。
- 将来人口推計では、2040年には94万人まで減少することが見込まれており、特に、県北・沿岸地域では、平成22年の約6割にまで人口が激減（＝需要の減少）することが想定されている。
- 人の流動は、各広域振興局圏内にとどまらず、圏域を超えた流動も多く、これらの移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。

※資料：岩手県毎月人口推計



図：広域振興局別人口の将来推計

資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）

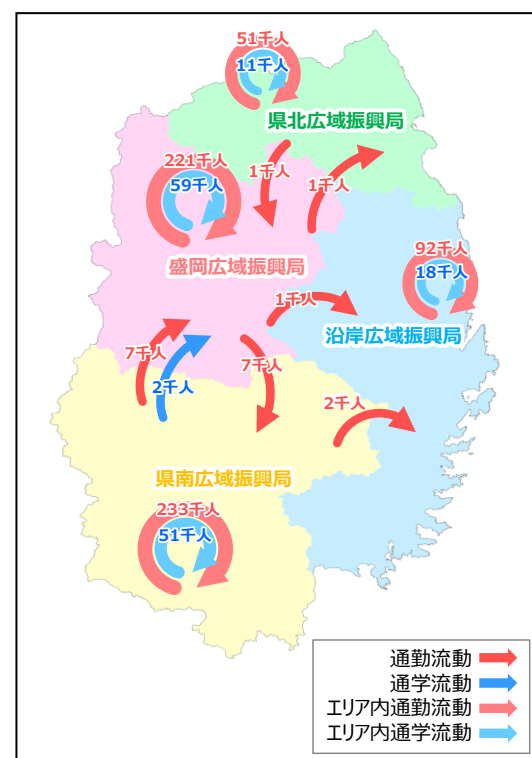
1-2 まちづくり

(1) 交通ネットワーク整備の進展

- 東日本大震災津波後、復興道路が平成32年度の開通を目指し整備されていること、また、J R山田線（宮古～釜石間）が平成31年3月23日より三陸鉄道に移管され、一貫運行されることで、広域的な人・ものの動きが激変することが想定される。
- このような交通ネットワークの変化を見据えた地域間交通の形成を検討する必要がある。

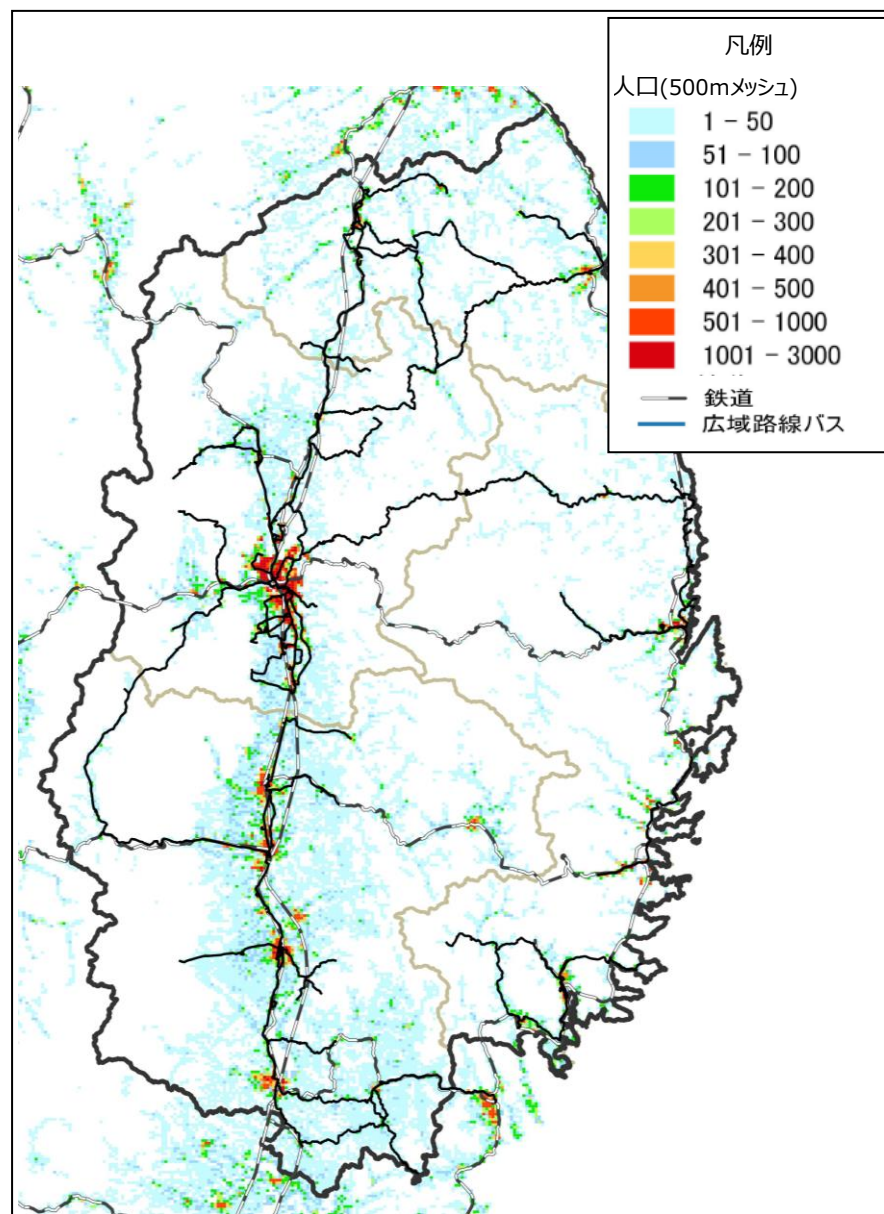
(2) 観光振興・国家プロジェクトへの対応

- 本県ではラグビーワールドカップ2019™釜石開催や大船渡港を始めとする港へのクルーズ船の寄港、八幡平地区等の訪日外国人旅行者受入環境の整備といったインバウンド施策、ILCの誘致事業等、国レベルの事業・プロジェクトが動いており、交流人口の拡大・増加が見込まれる。
- 観光振興等各種プロジェクトの事業進捗状況を見据えつつ、それらと連動し、生活交通路線を活用した、交流人口・インバウンド需要にも対応可能な地域間交通の利便性の向上が求められる。



図：広域振興局単位での通勤・通学流動（H27）

資料：国勢調査



図：人口分布（H27）

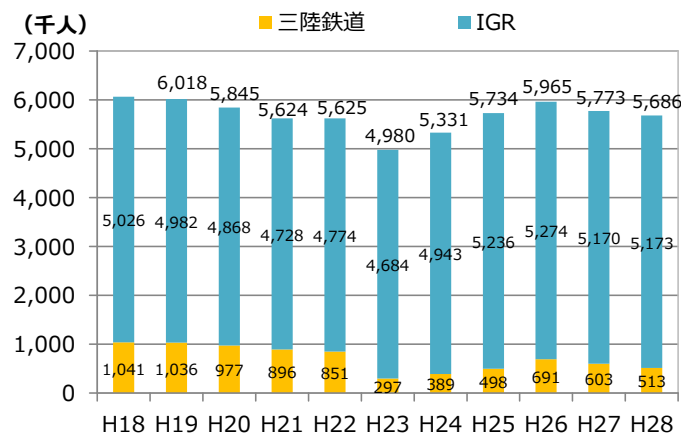
資料：地域メッシュ統計



図：まちづくり推進状況

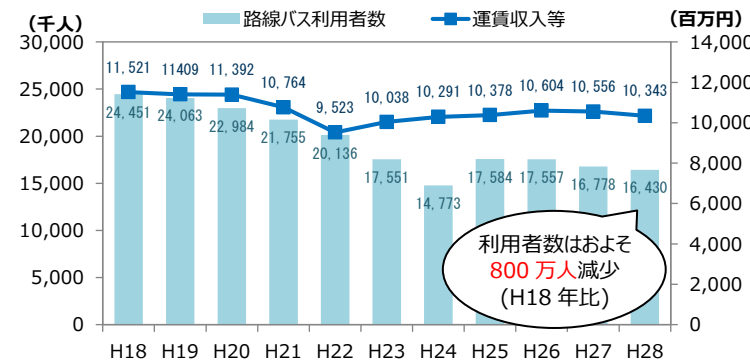
1-3 公共交通

- ・本県では、少子化の進展、自動車の普及に伴い、公共交通利用者が減少し、地域公共交通の利用者数及び運賃収入は年々減少している。
- ・タクシー事業者は、廃業する事業者もあり、平成 30 年 7 月現在 138 社となっている。
- ・第三セクター鉄道の平成 28 年度の利用者は、約 570 万人であり、平成 18 年度に比べ約 30 万人減少している。
- ・また、路線バスの平成 28 年度の利用者は約 1,640 万人と、平成 18 年度に比べ約 810 万人減少し、国・県の補助対象要件を満たさない路線が発生している。
- ・沿岸地域において震災後に導入された「地域公共交通確保維持改善事業の被災地特例」「特定被災地域公共交通調査事業」は、仮設住宅の集約・廃止に伴い平成 32 年度に終了予定となっており、今後、県・各市町村においては地域公共交通を維持・確保する上での負担が大きくなることが懸念される。
- ・そのような中、各市町村では「地域公共交通網形成計画」の策定が進められている（策定済み 10 市町村、策定中 7 市町村）。
- ・市町村策定の計画には、幹線路線の位置づけはされているものの、自治体単独で具体的な再編・施策を展開できておらず、地域内公共交通の再編・改善にとどまっている状況にある。



図：三セク鉄道利用者数の推移

資料：岩手県資料

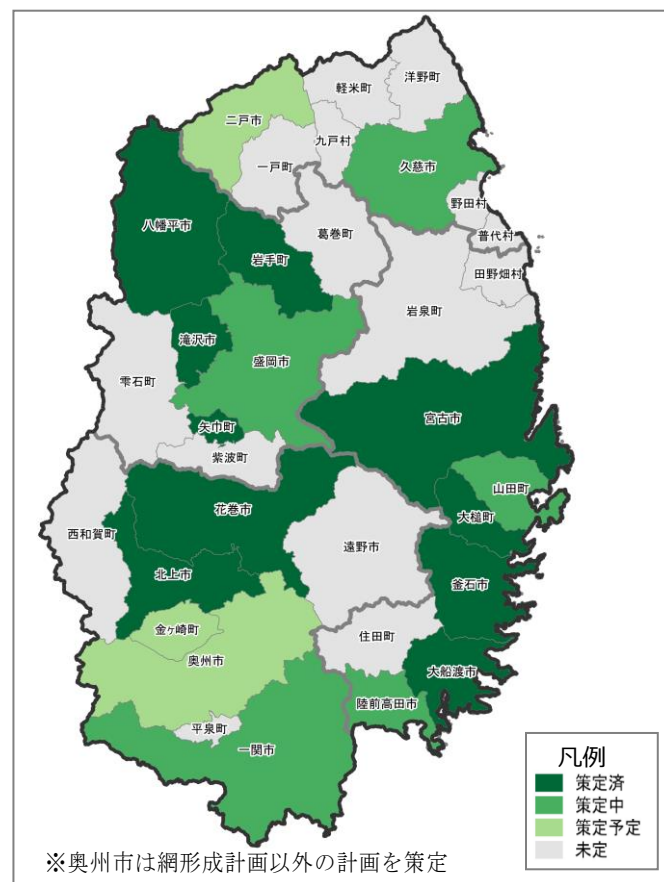


図：路線バス利用者数及び運賃収入の推移

資料：岩手県資料

利用者数はおよそ
30 万人減少
(H18 年比)

利用者数はおよそ
800 万人減少
(H18 年比)



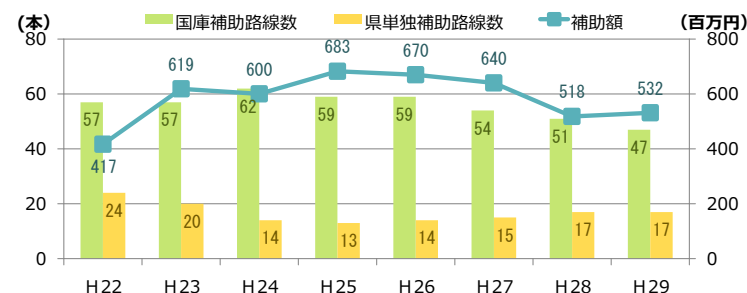
図：地域公共交通網形成計画の策定状況

表：タクシー事業者数 (H30 年 7 月)

	盛岡地域	県南地域	沿岸地域	県北地域	岩手県
タクシー事業者数	32	54	32	20	138

※主たる事務所の所在地で地域分類している

資料：東北運輸局岩手運輸支局資料



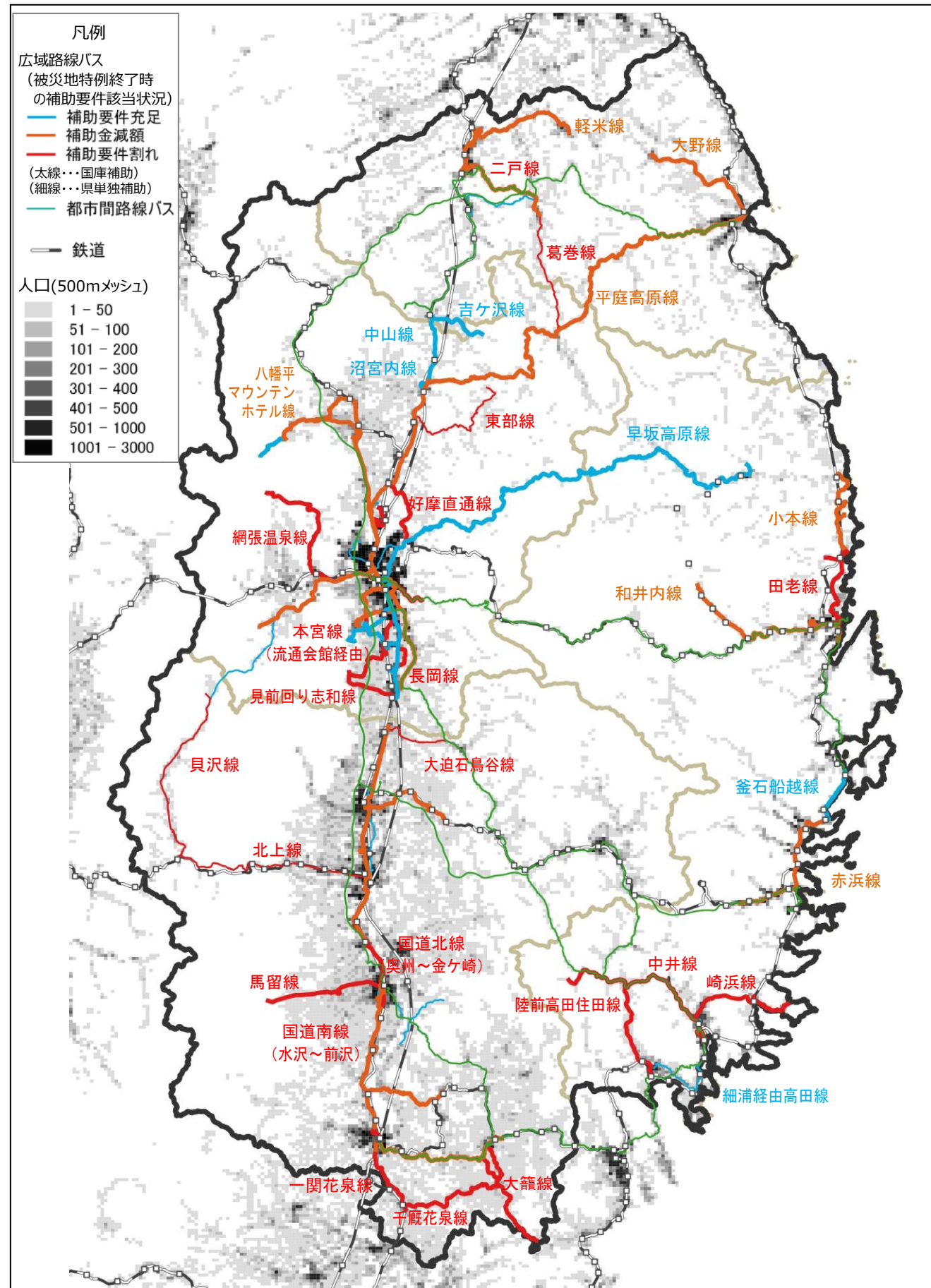
図：補助対象路線(国庫・県単)の路線数と補助額の推移

資料：岩手県資料

表：補助要件の充足状況 (H29 年度)

路線種別	国庫補助路線		県単補助路線		合計	
補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
路線数	47	16	17	9	64	25
補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

資料：岩手県資料

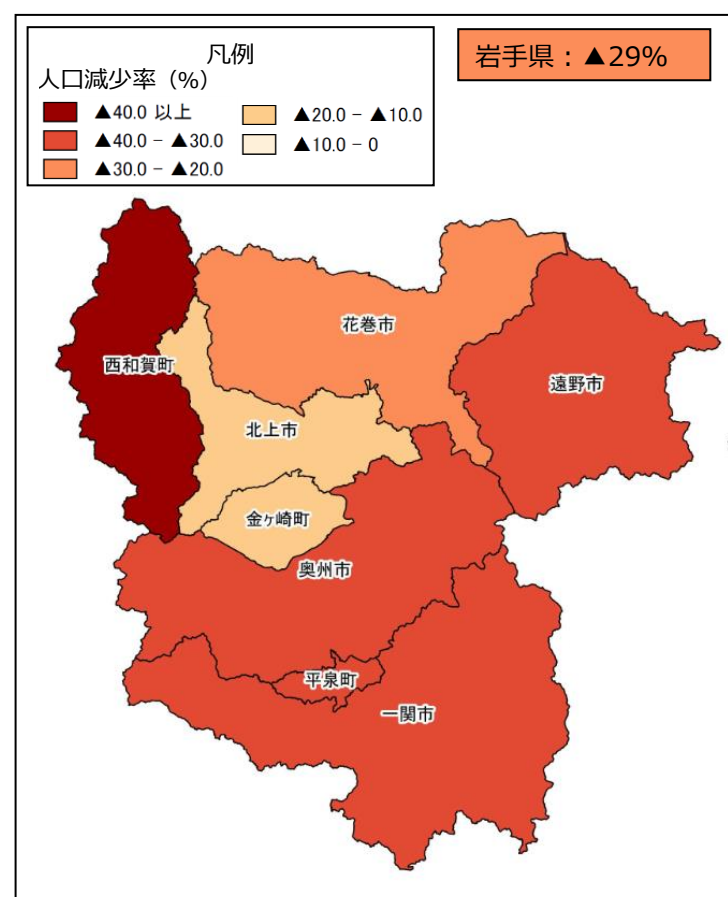


図：地域公共交通ネットワーク（鉄道・広域バス）

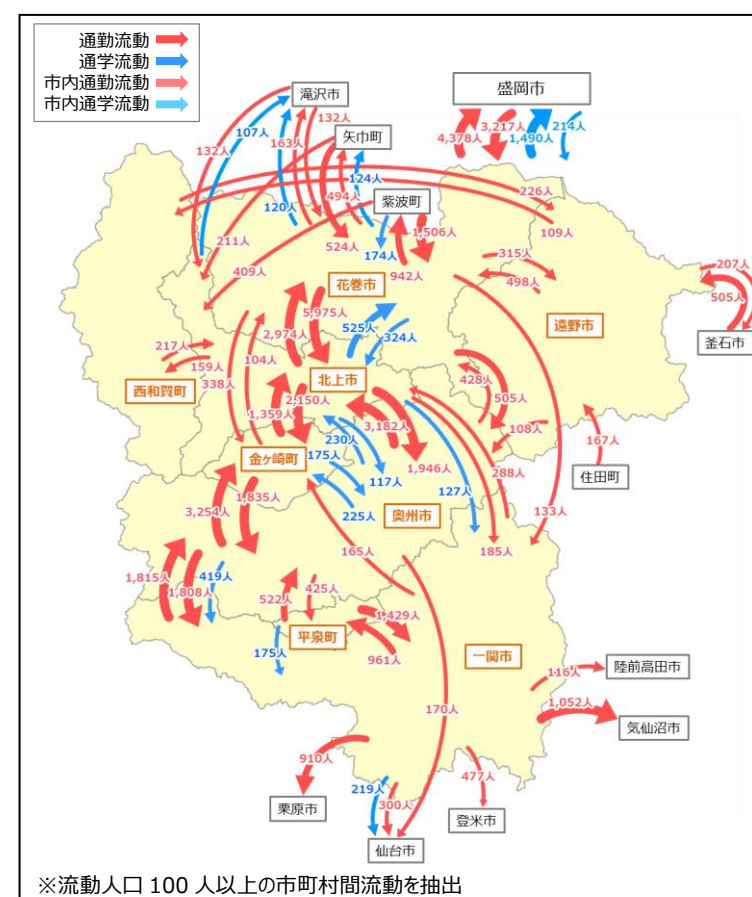
2. 県南地域の地域公共交通を取り巻く現状と課題

2-1 人口

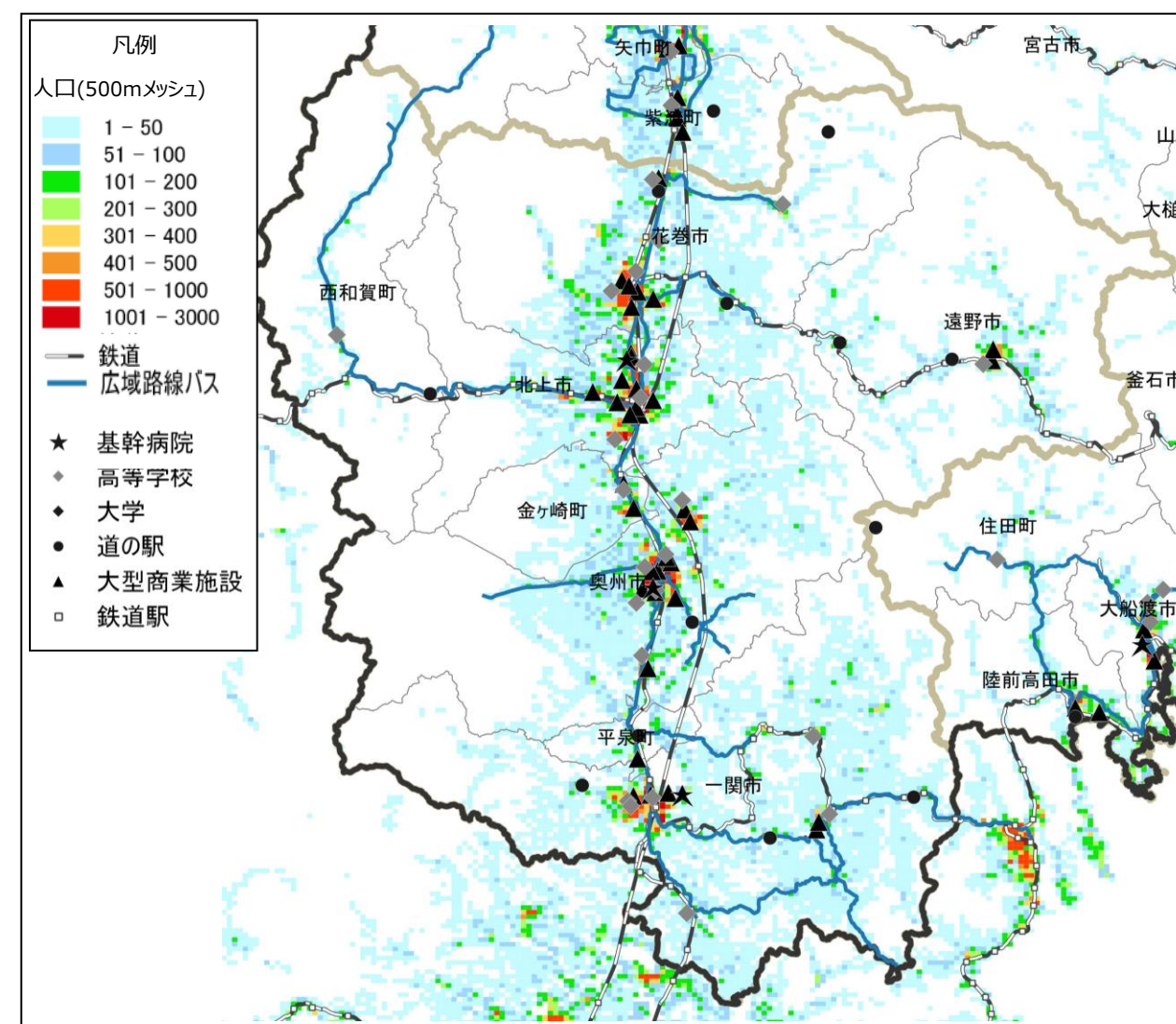
- ・ 県南地域の人口は、東北新幹線駅が位置する一関市、奥州市、北上市、花巻市に集積している。
- ・ また、高等学校、大型商業施設は、これら4市に集積、また基幹病院は、花巻市を除く3市に立地している。
- ・ そのため、これらの拠点市を中心とした通勤・通学者の移動がみられ、日常的な移動を支援する地域間交通の形成が必要といえる。
- ・ 将来人口推計によると、H22（2010）年から2040年の人口減少率は、西和賀町で40%以上と、今後30年間で大幅に減少すると予測されている。



図：人口減少率（(2040-H22)/H22）
資料：日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）



図：通勤・通学流動（H27）
資料：国勢調査



図：人口分布（H27）
資料：地域メッシュ統計

2-2 国庫補助・県単独補助対象路線の実態

- 平成 29 年度の県南地域の国庫補助対象路線は 14 路線、県単独補助対象路線は 6 路線である。
 - このうち、国庫補助対象路線の 6 路線（千厩花泉線、国道南線（水沢～前沢）、大籠線、国道北線（奥州～金ヶ崎）、馬留線、一関花泉線）、県単独補助路線の 3 路線（大迫石鳥谷線、貝沢線、北上線）は、激変緩和措置の終了に伴い、補助の要件を満たさなくなる。
 - また、国庫補助対象路線 11 路線は、平均乗車密度が 5 人以下であるため、補助金が減額されている。＊
- ＊平均乗車密度が 5 人以下の 14 路線のうち、3 路線は応急仮設住宅を經由しているため、被災地特例により補助金減額措置されていない。

表：被災地特例終了後の補助要件充足状況 (H29 年度)

地域	路線種別	国庫補助路線		県単独補助路線		合計	
	補助要件	満たす	満たさない	満たす	満たさない	満たす	満たさない
県南 地域	路線数	8 (17%)	6 (38%)	3 (18%)	3 (33%)	11 (17%)	9 (36%)
	補助額(千円)	71,743 (15%)	48,869 (46%)	6,970 (13%)	13,499 (38%)	78,713 (15%)	62,368 (44%)
岩手県	路線数	47	16	17	9	64	25
	補助額(千円)	478,494	107,295	53,136	35,113	531,630	142,408

() 内は、岩手県に占める割合

資料：岩手県資料

表：国・県補助対象路線の現状 (H29 年度)

■国庫補助路線の状況

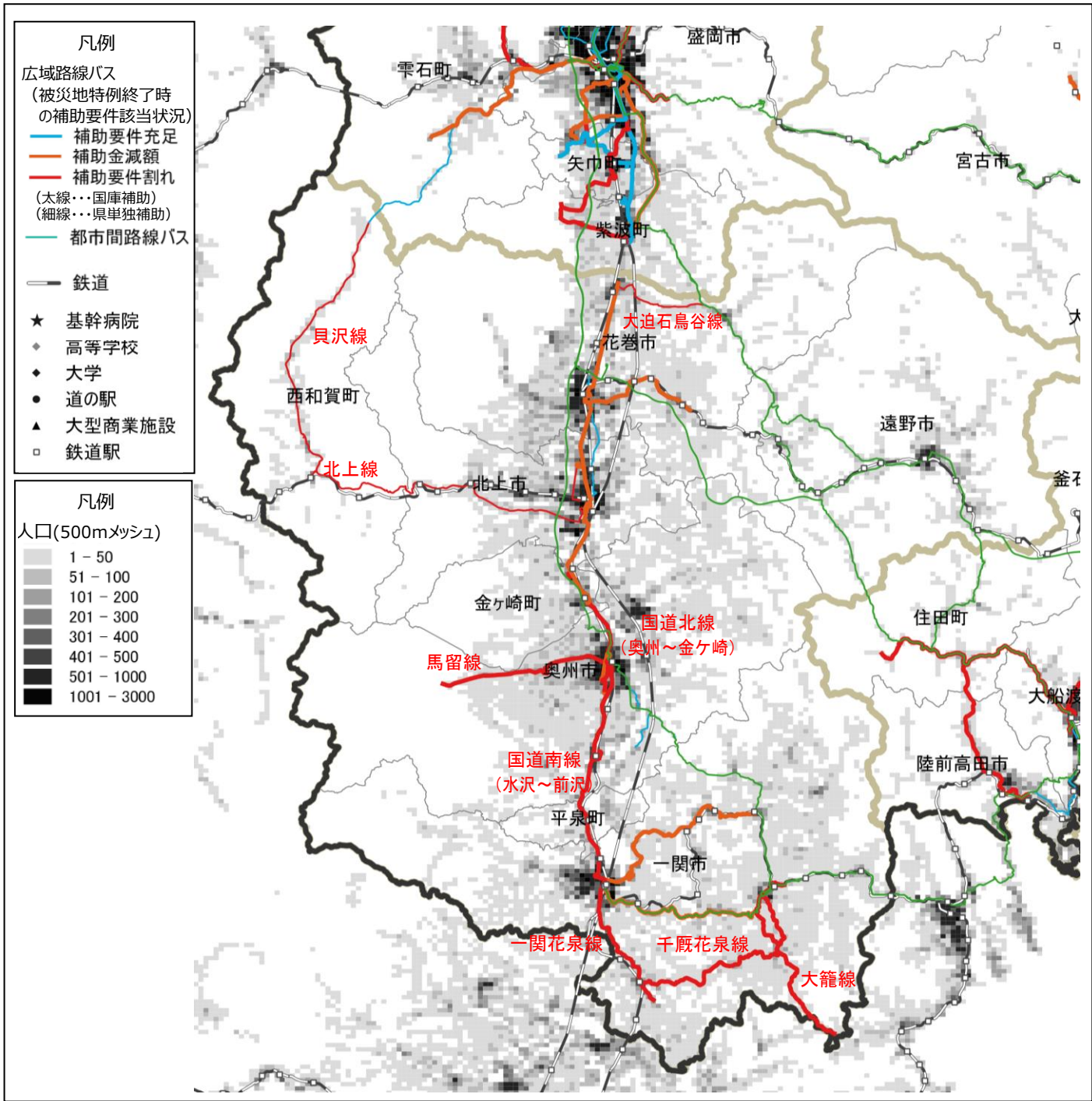
路線名	平均乗車 密度(人)	輸送量 (人)	経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	欠損額 (千円)	補助金額 (千円)	被災地特例終了時の 補助要件の充足状況	事業者
千厩花泉	1.2	5.8	32,634	7,754	24,880	21,271	満たさない	岩手県交通
国道南（水沢～前沢）	1.3	9.1	10,565	2,823	7,742	2,000	満たさない	岩手県交通
大籠	1.4	5.8	23,459	6,520	16,939	12,556	満たさない	岩手県交通
国道北（奥州～金ヶ崎）	1.9	14.4	23,317	8,394	14,923	4,124	満たさない	岩手県交通
馬留	2.6	10.6	18,044	9,292	8,752	1,971	満たさない	岩手県交通
一関花泉	2.7	13.5	25,326	11,413	13,913	6,947	満たさない	岩手県交通
国道南（一関～前沢）	2.0	27.8	51,466	18,292	33,174	8,295	満たす（補助金減額）	岩手県交通
土沢	2.2	15.1	22,866	10,281	12,585	4,454	満たす（補助金減額）	岩手県交通
蛸鼻溪	2.3	15.1	38,917	14,603	24,315	7,926	満たす（補助金減額）	岩手県交通
国道北（北上～金ヶ崎）	2.5	15.5	17,817	7,973	9,845	3,802	満たす（補助金減額）	岩手県交通
胆沢病院	2.5	28.7	27,320	16,610	10,710	4,477	満たす（補助金減額）	岩手県交通
本郷	2.6	17.1	40,437	14,134	26,303	23,835	満たす（補助金減額）	岩手県交通
国道南（水沢～胆沢病院～前沢）	2.8	20.1	23,322	12,295	11,027	5,804	満たす（補助金減額）	岩手県交通
石鳥谷	3.3	29.3	52,235	30,745	21,490	13,150	満たす（補助金減額）	岩手県交通

■県単独補助路線の状況

路線名	平均乗車 密度(人)	輸送量 (人)	経常費用 (千円)	経常収益 (千円)	欠損額 (千円)	補助金額 (千円)	被災地特例終了時の 補助要件の充足状況	事業者
大迫石鳥谷	2.0	14.6	20,932	9,364	11,568	4,500	満たさない	岩手県交通
貝沢	2.3	4.6	13,738	5,673	8,064	4,500	満たさない	岩手県交通
北上	3.6	7.2	10,269	5,128	5,141	4,499	満たさない	岩手県交通
生母	4.1	10.2	5,919	4,665	1,254	1,254	満たす	岩手県交通
成田	4.3	12.9	7,280	6,062	1,217	1,216	満たす	岩手県交通
山伏	5.3	5.3	14,499	8,104	6,395	4,500	満たす	岩手県交通

青字：補助要件充足 橙字：補助金減額 赤字：補助要件割れ

資料：岩手県資料



図：国・県補助対象路線

2-3 岩手県上位計画におけるまちづくりの方向性

- 「岩手県次期総合計画（中間案）」において、世界遺産「平泉の文化遺産」を代表とする地域資源を活かした交流人口の拡大を地域振興の基本的考え方としている。
- なお、圏域中心都市の拠点は、花巻・北上（岩手中部圏域）、水沢（胆江圏域）、一関（両磐圏域）が位置づけられている。

表：岩手県次期総合計画（中間案）における基本目標と地域振興の基本的な考え方	
基本目標	東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き 復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて
■県南広域振興圏の基本的考え方（抜粋）	
・ 世界遺産「平泉の文化遺産」に代表される歴史文化を伝える観光資源、地域に伝わる食文化や早池峰神楽等の伝統芸能など多様な地域資源を生かした魅力発信により、交流人口の拡大を図る。	

資料：岩手県次期総合計画（中間案）－長期ビジョン－（H30.9）

■県南広域振興圏				
内容		岩手中部圏域	胆江圏域	両磐圏域
都市の拠点など	中心都市の拠点	花巻、北上、遠野	水沢	一関
	中心都市の副拠点	石鳥谷	胆沢	平泉
	都市の拠点	東和	江刺、金ヶ崎、前沢	千厩、東山
	地域拠点	大迫、湯田、沢内、宮守	衣川	花泉、大東、藤沢、川崎、室根
都市間交流基盤	道路	東北縦貫自動車道 東北縦断自動車道釜石秋田線 幹線道路（国道、一部の主要地方道）	東北縦貫自動車道 幹線道路（国道、一部の主要地方道）	東北縦貫自動車道 幹線道路（国道、一部の主要地方道）
	鉄道	東北新幹線 JR東北本線 JR釜石線 JR北上線	東北新幹線 JR東北本線	東北新幹線 JR東北本線 JR大船渡線
	空港	花巻空港		
	環境保全・レクリエーションゾーン	早池峰国定公園 栗駒国定公園 花巻温泉郷県立自然公園 湯田温泉峡県立自然公園 花巻広域公園	栗駒国定公園	栗駒国定公園 室根高原県立自然公園

※ 岩手県都市計画マスタープランを参考に整理

2-4 地域公共交通網形成計画における地域間交通の位置づけ

- 県南地域で地域公共交通網形成計画を策定している市町村は花巻市、北上市であり、一関市が、平成 30 年度策定予定である。
- 地域公共交通網形成計画に記載されている複数市町村間を連絡する広域バスは、右表に記すとおりであり、幹線路線に位置づけられている。

2-5 自治体の地域間交通整備の状況（市町村ヒアリング結果（一部抜粋））

- 県が実施した自治体ヒアリングによると、通院・通学に利用されている広域バスが複数みられる。このうち、被災地特例終了に伴い、補助要件を満たさなくなることが予想される貝沢線、北上線も通院・通学に利用されており、通院・通学の移動手段確保のため、維持が不可欠な路線といえる。
- 地域間交通相互、地域間交通と地域内交通との接続拠点は、鉄道駅、バスターミナル、商業施設、病院、道の駅など、日常生活において住民の利用が多い施設や、まちの拠点となる施設が位置付けられている。

表：幹線路線の利用状況、整備状況など

市町村	計画策定状況	鉄道	広域バス路線	接続拠点
花巻市	策定済（H29.6）	■東北新幹線 ■JR東北本線 ■JR釜石線	■土沢線（国） ・沿線に宮沢賢治記念館や花巻市博物館があるため、バス利用者は入館料を減免するなどの利用促進策を実施。 ■石鳥谷線（国） ・JR東北本線とほぼ平行であるが、駅の無い区間の移動手段。県立中部病院を経由するため、病院利用者がみられる。 ■成田線（県） ・北上市内と花巻北高校を経由するため、学生の利用がみられる。 ■大迫石鳥谷線（県） ・石鳥谷駅との接続は悪くないことから、利用が少ないのは接続の問題ではない。 ・大迫と石鳥谷の祭りの際に、帰り分の臨時無料バスを運行するといった企画バスなども実施。 ★地域公共交通網形成計画において、上記4路線に大迫花巻線を加えた5路線を地域間をつなぐ幹線路線に位置づけて、路線維持を目指している。	■花巻駅 ■土沢駅 ■石鳥谷駅 ■道の駅とうわ ■大迫バスターミナル ■イトーヨーカドー
北上市	策定済（H29.6）	■東北新幹線 ■JR東北本線 ■JR北上線	■国道北線（北上～金ヶ崎）（国） ■石鳥谷線（国） ★地域公共交通網形成計画において、上記2路線を都市の骨格を形成する幹線路線に位置づけて、一定便数の確保や等間隔運行を推進することを目指している。 ■成田線（県） ・花巻北高校に接続するため、学生の利用が見られる。 ■北上線（県）	■北上駅 ■まちなかターミナル ■江釣子SCパル ■さくらの百貨店 ■地域交流センター
遠野市	未策定	■JR釜石線	－	■遠野駅 ■宮守駅
西和賀町	未策定	■JR北上線	■山伏線（県） ■貝沢線（県） ・西和賀高校への通学路線。 ・貝沢線は、日中の料金を500円を上限とすることで利用者を増やせないか検討中。 ・山伏線は、料金上限を1,000円として利用促進を実施。 ■北上線（県） ・通院利用が多い。 ・人が多いところを通せないか検討が必要。	■ほっと湯田駅 ■西和賀さわうち病院
金ヶ崎町	未策定	■JR東北本線	■国道北線（北上～金ヶ崎）（国） ■国道北線（奥州～金ヶ崎）（国）	■金ヶ崎駅 ■金ヶ崎診療所 ■スーパー（ビッグハウス）
奥州市	策定中	■東北新幹線 ■JR東北本線	■国道南線（水沢～胆沢病院～前沢）（国） ■国道南線（一関～前沢）（国） ■胆沢病院線（国） ■国道北線（奥州～金ヶ崎）（国） ・JR東北本線と並行するため、利用者が少ない。 ■馬留線（国） ・胆沢区の患者輸送バスと重複、奥地まで行くため利用者が少ない。 ■生母線（県）	■水沢駅 ■県立胆沢病院 ■道の駅みずさわ ■病院、各支所、地区センター
平泉町	未策定	■JR東北本線	■国道南線（一関～前沢）（国）	■平泉駅 ■毛越寺
一関市	策定中（H30予定）	■東北新幹線 ■JR東北本線 ■JR大船渡線	■狛鼻溪線（国） ■国道南線（一関～前沢）（国） ■本郷線（国） ■千厩花泉線（国） ■大龍線（国） ■一関花泉線（国）	■一ノ関駅 ■千厩駅 ■市民センター等の支所 ■病院、学校

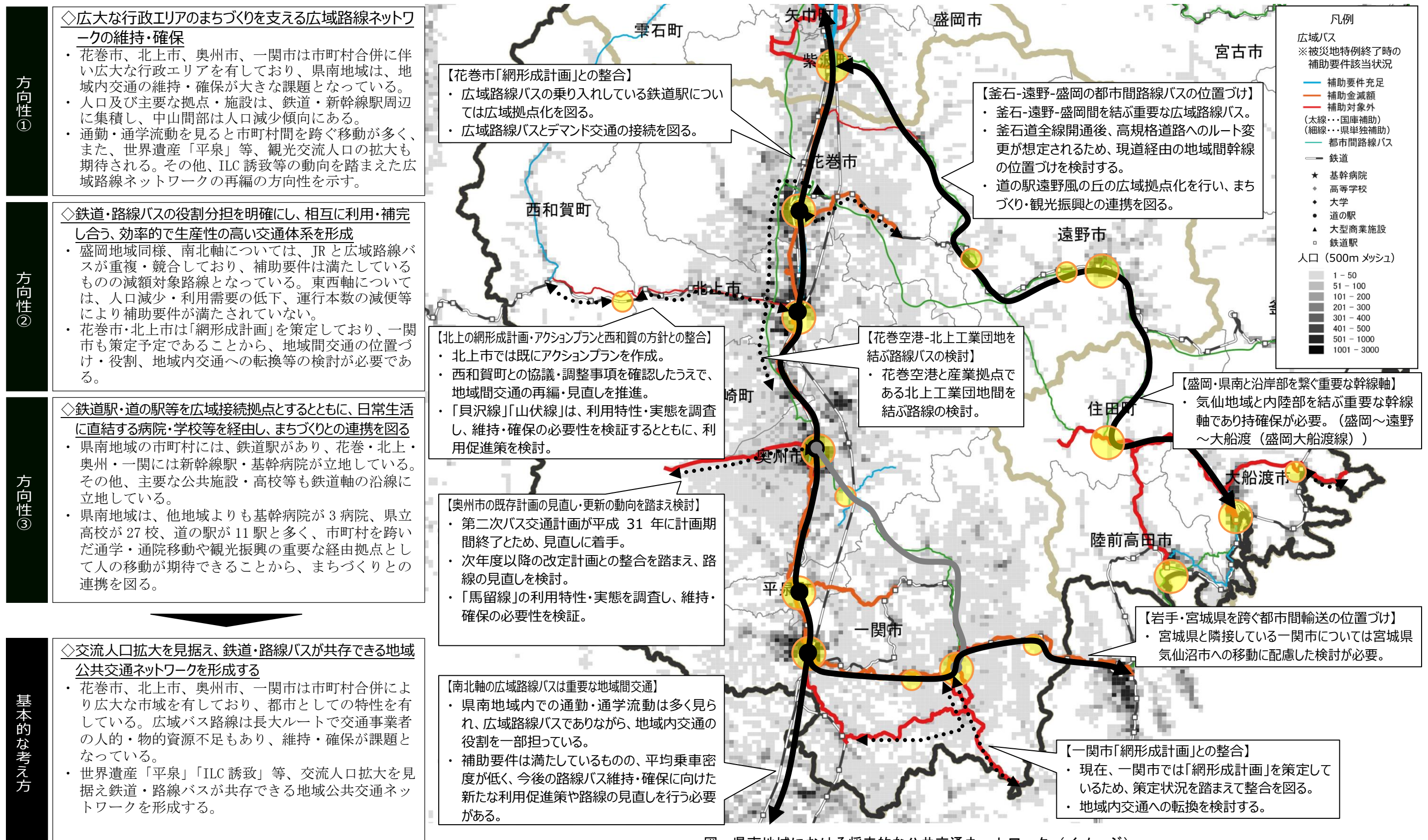
青字：補助要件充足

橙字：補助金減額

赤字：補助要件割れ

3. 県南地域の将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）

- ・ 既存資料・データから見る本県の地域公共交通を取り巻く現状と課題を踏まえて、県南地域における将来的な公共交通ネットワークの方向性は以下に示すとおりである。
- ・ 今後、各市町村の上位関連計画における「地域公共交通（特に地域間幹線）の位置づけ・役割」、交通事業者が所有している「路線バス運送実績データ分析」、本業務で実施予定となっている各調査結果を基に、下記方向性をブラッシュアップしていく予定である。



図：県南地域における将来的な公共交通ネットワーク（イメージ）